

富士山の前を駆けぬけるN700S。



活やくする車両①

N700S

▲東海道新幹線の主力の車両で、N700Aよりさらに性能がアップしました。Sは英語で「最高の」という意味のことばの頭文字です。どの席もひじかけの下に専用の電源コンセントが付き、仕事で乗る人や旅行者にとってつかいやすい座席になっています。

東海道新幹線

1964年に、日本で最初に開通した新幹線です。東京と名古屋や関西方面をむすび、1日におよそ42万人をはこびます。新大阪～福岡県の博多は、「のぞみ」が山陽新幹線と直通運転しています。

●路線のデータ●

- 開通した年……………1964年
- 起点▶終点……………東京▶新大阪
- 駅の数……………17駅
- 路線の長さ……………515.4km
- 営業最高速度……………時速285km
- 使用する車両……………N700S・N700A ほか
- 列車の名前……………のぞみ・ひかり・こだま

▶()は東京からの営業キロ。
●は停車、○は停車と通過あり(毎日運転している列車を中心に表示。臨時や区間運転など、一部列車をのぞく)。新大阪～博多は山陽新幹線区間。

※営業キロとは異なる。

止まる駅は?

	のぞみ	ひかり	こだま
東京(0.0)	●	●	●
品川(6.8)	●	●	●
新横浜(28.8)	●	●	●
小田原(83.9)	●	●	●
熱海(104.6)	●	●	●
三島(120.7)	●	●	●
新富士(146.2)	●	●	●
静岡(180.2)	●	●	●
掛川(229.3)	●	●	●
浜松(257.1)	●	●	●
豊橋(293.6)	●	●	●
三河安城(336.3)	●	●	●
名古屋(366.0)	●	●	●
岐阜羽島(396.3)	●	●	●
米原(445.9)	●	●	●
京都(513.6)	●	●	●
新大阪(552.6)	●	●	●
博多(1174.9)	●	●	●



活やくする車両②

N700A

▲N700系のシリーズは、騒音をおさえる「エアロダブルウィング」という先頭の形が特ちょうです。N700Aは、2012年にN700系の改良型として登場しました。N700系を改良してN700Aとおなじ機能をもたせた「N700A」(「スモールA」とよばれる)も活やく中です。



N700SとN700Aの見わけかたは?

N700SとN700Aはよくにています、下のような見た目のちがひがあります。



▲N700S(右)は、顔のところが少し角ばっていて、ライトの形もちがいます。



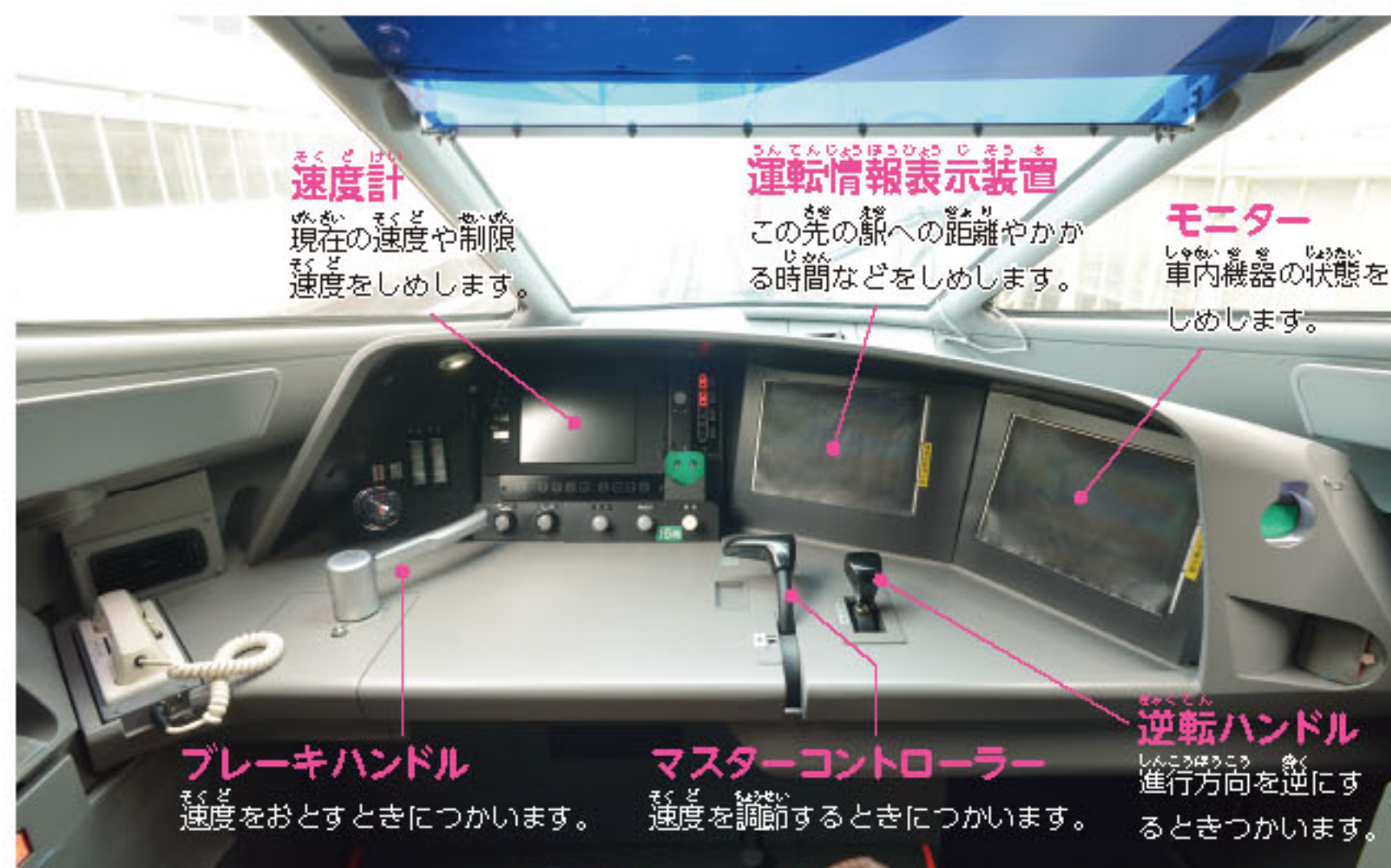
▲N700S(右)は、青い帯が運転席の下までのびています。



▲車両のよこにしめされているエンブレムでも見わけがつかます。

N700S 車内を探検!

N700Sは、安全性や快適な乗りごごちのために「最高の」性能をそなえた新幹線車両です。どんな特ちょうがあるか、車両のようすをくわしく見てみましょう。



●運転席 ▲大きな窓で前方のようすがよく見え、いろいろなデータが見やすいように表示装置が配置されています。

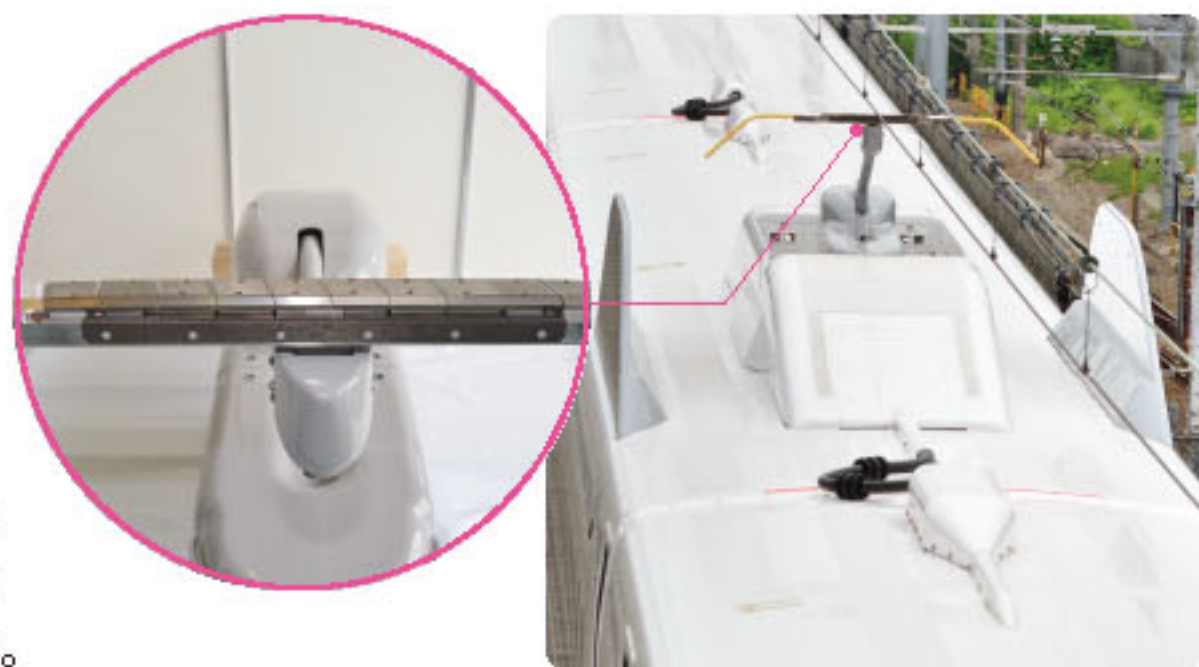


●連結部

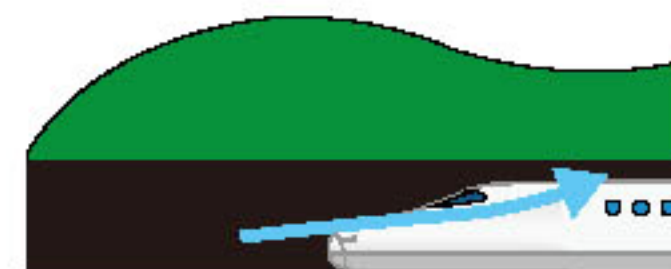
▲車両と車両をつなぐ連結部が、のびちみするホ口（全周ホ口）でおおわれ、騒音が出るのをふせぎます。

●パンタグラフ

▼送電線から走行中の車内に電気をとりこむ大切な場所です。細かいパーツにわかれ、送電線に合わせてたわむため、電気をとりこむ能力がアップしています。



▼トンネル内で、前の空気が後ろにながれるようす。



●先頭の形 ▲空気の抵抗をへらし、トンネルに入るときに大きな音が出ないようにくふうされたエアロダブルウィングという形です。



●座席

◀これまでグリーン車だけだった、リクライニング（座席の背もたれをかたむけること）したときに座席面もいっしょにかたむく「シンクロナイズド・コンフォートシート」が普通席にもつかわれ、より快適な乗りごこちになっています。



▲普通席(左)とグリーン車(右)のようす。



▲普通車両のいちばん後ろの席には、特大荷物をおさめるスペースがついています。また、デッキにも予約制の特大荷物コーナーがあります。

●車いすスペース



▲普通車両の一部に、車いすを横におくことができる専用のスペースがそなえられています。



●多目的室と多機能トイレ

▲からだの不自由な人がつかいやすいように、ひろびろとしたつくりになっています。

西日本の楽しい観光列車

JR西日本が運行する列車をはじめ西日本の各地にも、週末を中心に個性的で楽しい観光列車が走っています。その一部を見てみましょう。



西日本周遊・117系改造

WEST EXPRESS 銀河

▲鉄道の旅を気軽に楽しめる列車として登場した新しいタイプの特急列車です。昼間は座席、夜は寝台になるシートや、ファミリー向け個室など、いろいろなタイプの座席が用意されています。京都から和歌山県の新宮をめぐる紀南ルート（上の写真）や、山陰ルート、山陽ルートなどがあります。

七尾線ほか・キハ48形(改造)

花嫁のれん

◀石川県の金沢と能登半島の和倉温泉をむすんで走る観光列車です。名前は能登につたわる嫁入り道具のひとつで、乗客に幸せになってほしいというねがいがこめられているといいます。車内では、金沢の料亭が手がけたおいしい食事を楽しむことができます。

（2024年1月の能登半島地震により、2024年11月現在運休中）



山口線・D51形/C57形

SLやまぐち号

▲新山口と「山陰の小京都」津和野をむすび、約63kmの道のりをおよそ2時間かけて走る観光用の蒸気機関車です。「デゴイチ」のD51形や「貴婦人」とよばれるC57形が引っぱります。レトロなふんいきの車内には、SLのしくみや歴史を展示するスペースもあります。



▲SLやまぐち号の35系客車。

ジェイアール に し に ほ ん
JR西日本の
と っ き ゅ う れ っ し ゃ
特急列車

JR西日本は、中部地方から近畿、
 中国地方まで、西日本を幅広くカ
 バーしています。京都や大阪など
 を中心に、多くの特急列車が行き
 来しています。



東海道線 ほか、281系 + 271系

はるか

▲滋賀県の野洲や京都、関西空港をむすんで走っています。281系は関西国際空港開港と同時に登場した「はるか」専用の車両で、271系も連結して走ります。スーツケース用の大きな荷物置き場がもうけられています。



東海道線 とうかいどうせん ほか・285系 けい

サンライズ^{いすもせと}出雲・瀬戸

▲東京と島根県の出雲市、または香川県の高松をおすんで走る寝台特急です。東京～岡山間は連結していっしょに走っています。寝台料金のかからない「ノビノビ座席」のほか、さまざまなタイプの寝台個室があります。



伯備線ほか・273系

やくも

▲岡山と出雲市をむすんで走っています。国鉄時代から活やくした381系に代わり、2024年に写真の273系が新しく登場しました。車体の色は「やくもブロンズ」とよばれ、宍道湖の夕日などをイメージしています。

北海道・東北の近郊型電車

変化にとんだ地形の中を、列車が行き来しています。山間部などでは非電化区間がのこり、気動車(軽油で走るディーゼルカー)が1両編成で走る路線もあります。



JR 函館本線

北海道の函館から長万部や札幌をとおって、旭川までをむすぶ長い路線です。「北斗」や「カムイ」、「エアポート」など、多くの特急列車や快速電車が走り来しています。写真は733系電車です。



JR 宗谷本線

旭川と日本最北の鉄道駅・稚内をむすぶ路線です。写真のH100形は発電用エンジンで走る新しい気動車で、長く北海道で活躍したキハ40形をおきかえるために導入されました。



JR 千歳線

沿ノ端と白石をむすぶ本線と、南千歳と新千歳空港をむすぶ支線からなります。写真は、小樽・札幌～新千歳空港間を走る733系「快速エアポート」です。



JR 室蘭本線

函館本線の長万部から東室蘭や苫小牧をとって岩見沢までをむすぶ路線で、東室蘭～室蘭間までをふくみます。写真は室蘭～札幌間を走る737系電車です。



JR 釧路本線

釧路湿原などの観光地をとおり、東釧路と網走をむすびます。写真は冬の鉄橋をわたるキハ54形です。



道南いさりび鉄道

函館の五稜郭と北海道新幹線の停車駅・木古内を海沿いにおすす私鉄です。車両はJR北海道からゆずりうけたキハ40形です。



JR 石北本線

新旭川から北見をとって網走までをむすぶ東西にのびる路線です。名前は「石狩」と「北見」からとっています。特急「オホーツク」のほか、写真のH100形気動車も活躍しています。



JR 石勝線

千歳線の南千歳から、けわしい山間部をとって北海道中部の新得までをむすぶ路線です。「北海道の背骨」とよばれる日高山脈を横断するため、多くのトンネルをとおります。写真のキハ150形は、南千歳～新夕張間を走っています。



JR 五能線

秋田県の東能代と青森県の川部を海岸づたいにおすす。写真は新型気動車のGV-E400系です。



JR 男鹿線

秋田県の男鹿半島の南側をとおり、追分と男鹿をむすぶ路線です。写真は蓄電池で走るEV-E801系です。



近畿・中国・四国の私鉄電車

近畿地方では多くの大手私鉄の路線があり、JRをふくめてきそいあうように走っています。また中国・四国では、個性的で楽しい私鉄路線があります。



▲2024年10月にデビューした近鉄の新がたつやせいのエー型通勤車両8A系。



近畿日本鉄道

近畿地方と東海地方に数多くの路線をもつ大手私鉄で、「近鉄」ともよばれています。大阪府の布施と近鉄奈良をむすぶ奈良線、京都と奈良のやまとをむすぶ京都線、大和西大寺をむすぶ京都線、大阪上本町と三重県の伊勢中川をむすぶ大阪線、伊勢中川と近鉄名古屋をむすぶ名古屋線などがあります。特急から近郊型まで、車両のバリエーションもとても豊富です。

▲奈良線を走る急行電車の8810系。

▼梅田へ向かう神戸線の特急7000系。

阪急電鉄

大阪と京都、神戸などをむすぶ大手私鉄です。おもな路線に、大阪梅田と神戸三宮をむすぶ神戸線、大阪梅田と宝塚をむすぶ宝塚線、大阪の十三と京都河原町をむすぶ京都線などがあります。近郊型の電車は、すべての車両が「マルーン」とよばれる小豆色に統一されています。



▲京都河原町へ向かう京都線の8300系特急電車。



▲大阪梅田へ向かう本線の特急・急行用の1000系。

京阪電気鉄道

大阪にある大手私鉄のひとつで、京都や滋賀県にかけてをむすぶ路線があります。主要な京阪本線は大阪の淀屋橋と京都の三条をむすび、ほかに琵琶湖の西側を走る石山坂本線などがあります。写真は通勤型の7200系です。



阪神電気鉄道

大阪にある大手私鉄のひとつです。大阪梅田と神戸の元町をむすぶ阪神本線のほかに、阪神なんば線などがあります。



▲普通電車につかわれる5550系。

南海電気鉄道

大阪にある大手私鉄のひとつで、とても古い歴史があります。大阪の中心部と和歌山県方面や高野山方面をむすんでいます。主要路線に、難波（なんば）と和歌山市をむすぶ南海本線や、大阪の汐見橋と和歌山県の極楽橋をむすぶ高野線があります。写真は本線を走る通勤型の8000系です。

